

緑風会 大杉 吉包 議員

鈴鹿市における雇用情勢と景気の動向、人手不足に対する対策について

(質問) 本市の景況感は上向いているが、企業にとっては雇用の面で人手が足りていない非常に厳しい状況と聞いている。

企業が育つ原動力は人であり、人材の確保が喫緊の課題と考える。企業の人材確保に係る本市の支援策について尋ねる。

(答弁) 本市における15歳から64歳までの生産

年齢人口の転出入状況は、平成27年度が425人、平成28年度が217人の転出超過となっている。

市外への人材流出の抑制に向け、今年7月に市内で合同企業説明会を開催し、25社の出展と54人の求職希望者の来場があった。来年3月ごろに第2回を開くとともに若年層への認知度向上に努める。

また、今年度より鈴鹿市雇用促進協連携議会を立ち上げ、効果的な雇用施策を展開していく。

その他の質問

○「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現に向けた鈴鹿市の取り組み状況について

鈴鹿の風 中西 大輔 議員

地域共生社会への取り組みについて

(質問) 厚生労働省の取りまとめ案で、推進する圏域について、高齢者や障害者、子どもなどの各種計画で定める圏域や福祉以外の分野で定める圏域を意識した上で設定する必要があるとされている。また、推奨する圏域とは小学校区域ともある。地域福祉の拠点を小学校とすれば、

公共施設マネジメントの考えにも沿う。市は小学校区を地域共生社会の基本とし、部をまたいで議論し、考え方を明確にするべきではないか。

(答弁) 圏域を原則「小学校区」とした地域づくり協議会を中心に、地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進する考えである。

地域住民、その他の地域の多様な主体、行政が連携して総合的に取り組みを推進するための仕組みをどのように整えるかという観点から、庁内全体で協議を進めていく。

リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

神戸中学校跡地について

(質問) 神戸中学校跡地の利用計画について、これまでの流れと今後の予定を問う。

(答弁) 平成22年9月に神戸中学校の跡地利用の方向性が決まり、平成25年9月には「鈴鹿市立幼稚園再編整備計画」を策定し、神戸幼稚園の移転候補地とした。そして、平成26年9月に跡地利用構想を策定し、その後の2年間で埋蔵文化財の発

掘調査を実施し、全体の区域が確定して今に至っている。

現在、神戸幼稚園の移転に伴う事前調査を行っているが、周辺道路の渋滞発生や騒音、踏切など園児の通園の安全対策に懸念があり、移転の方向性を改めて検討している。

今後は神戸幼稚園の移転について結論を急ぎ、課題の部分についてさらに調整し、全体としての方向性を固められるようスピード感を持って進めていきたい。

その他の質問 ○学校と地域の連携について

自由民主党 鈴鹿市議団 森 喜代造 議員

公共施設の防犯対策について

(質問) 公民館のセキュリティについて。また、今後の取り組みについて。

(答弁) 今年の6月から7月にかけて市内公民館で空き巣の被害が発生した。公民館長などの職員を対象とした防犯対策研修会を実施することにより、自己防衛策を講じること、地域の情報を共有し、見守りを徹底することに決定した。

また、セキュリティーシステムの導入は、一定の防犯効果が期待できると判断し、単独公民館を含めた13カ所への導入について、9月補正予算で対応したい。システムの導入により、警備会社への即時通報ができ、建物の外観からもシステムの導入が認識できることから抑止効果が期待できる。また、公民館で被害に遭った事実を真摯に受け止め、防犯意識の高揚につながる取り組みを行い、再発防止に努めたい。

その他の質問 ○児童の虐待について